Solar

FELIX 117

錆固定剤
フェリックス117

フェリックス 117　1.2 kg セット（写真）
主剤 900g 硬化剤 300g
計量カップ 2 個、シーラー刷毛 2 本入

フェリックス 117　16 kg セット
主剤 12kg 硬化剤 4kg

サビのでた鋼材に。
ブラスト、サンダーの要らない素地調整！

錆固定剤 フェリックス 117 は、キレート配位子を特殊変性エポキシ樹脂の骨格中に付加重合した樹脂を主成分とする下地処理軽減を目的とした被膜形成型プライマーです。
従来の防食塗料は、塗膜性能を充分発揮させる為に高度な下地処理が不可欠とされ、この下地処理に多大な時間と経費が費やされています。フェリックス 117 は、高度な下地処理が不可能な場合など、残された錆面（第 2 ～ 3 種ケレン程度）に化学反応させ安定化することにより、強力な防錆効果を発揮いたします。

用　途

- ■ サビの出た鉄板、鋼材への塗装の際の素地調整に。
- ■ 新設の鉄板素地、黒皮への防錆塗装として。

特　長

- ■ 耐水性、耐塩水性、耐油性、耐薬品性に優れた塗膜を形成します。
- ■ 錆に浸透しやすい低粘度タイプで化学的に成分中のウレタン樹脂 (NCO) が錆成分中の水分とも反応します。
- ■ 錆面下地処理ケレン費用が大幅に節約できます。（第 2 ～ 3 種ケレン程度の下地に塗装できます）
- ■ 塗替え時の旧塗膜にも良く密着します。（旧塗膜を残す際には、予め溶剤でリフティング現象がないことを確認して、施工してください。）
- ■ 通常の塗料（合成樹脂調合ペイント、塩化ゴム塗料、タールエポキシ、ウレタン樹脂塗料）の塗り重ねができます。
- ■ 低温時の乾燥性に優れています。

使用方法

1. 錆やミルスケールを完全に除去し、金属光沢した地肌を出した表面とし、黒皮の油分は完全に除去してください。（新設の場合）不安定なミルスケールや浮き錆をワイヤーブラシなどで除去してください。（塗替えの場合）
2. 主剤を使用する前に充分攪拌してください。
3. 主剤と硬化剤の混合は、セット単位か所定の配合比（3：1）で計算し、均一になるまで充分攪拌（混合）してください。
4. 刷毛またはエアレスガンで必要量を塗布してください。

荷　姿

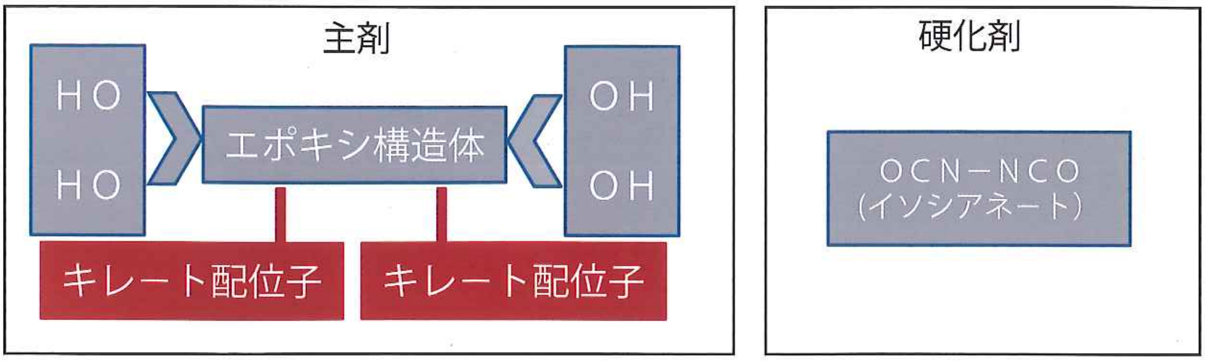
16kg セット　1 セット
1.2kg セット　6 セット / ケース

株式会社 ソーラー
神戸 / 東京 / 名古屋 / 九州
本社 / 神戸市中央区布引町 2 丁目 1 番 7 号
TEL.(078)231-0431 FAX.(078)242-1575
URL http://www.kobe-solar.co.jp

Solar

【錆固定剤 フェリックス 117 の防食機構】

フェリックス＃１１７は、主成分に強固なエポキシ樹脂構造を有し、側鎖にキレート配位子を配し、さらに末端の塗膜形成する部分をポリオール化しています。



エポキシ構造体
外部からの水（水蒸気）を阻止します。この構造体は水の透過度０ 水蒸気の透過度が２ｍｇ／ｍ２ ２４時間を示します。

キレート配位子
錆の進行中の不安定な錆を捕えて安定なキレート化鉄を形成します。（鉄と反応するという意）

末端ポリオール
塗膜の形成を素早く行い、乾燥途中での外部からの影響を極力除く作用をします。反応は低温時 マイナス５℃程度までは可能です。

イソシアネート
末端ポリオールと反応し塗膜を形成すると同時に錆中の結晶水と反応して除去する作用を有します。又、錆中に浸透して錆の補強を行ないます。

フェリックス 117 は以上の部位の働きを有すると同時に、塗膜全体としては柔軟であり、繰り返しの力を加えても剥離を起こしません。併せて、未反応キレート配位子が塗膜上部にも存在するので、各種の塗料にもしっかり密着することが大きな特長です。（水系材料は確認）

【錆固定剤 フェリックス 117 の防錆試験結果】

試験項目	試 験 規 格	主 剤	硬化剤
耐水性	２０℃、６ケ月 水道水	異常なし	
耐塩水性	２０℃、６ケ月 ３％食塩水	異常なし	
耐薬品浸漬試験 ＪＩＳ Ｋ５６６４	５％ ＮａＯＨ ５％ Ｈ２ＳＯ４ ３％６価クロム酸水溶液 耐揮発油性	異常なし 異常なし 異常なし 異常なし	

錆鋼板とフィリックス117 塗布品（３種ケレン）

塩水噴霧試験後（５００時間）の試験片

Solar

推奨処理工程

工　程		材 料 名	塗装方法	塗装間隔	使用量 Kg/m2	塗　膜 Min(μ)
1	下地処理	・第２ ～ ３種ケレン ・錆瘤はハンマー等で落とす。				
2	錆の固定化	フェリックス117	ローラー刷毛 又は刷毛	１時間 以上	０．１	２５
3	プライマー	１液 ｏｒ ２液 エポキシ塗料	各種塗装方法 (刷毛含む)	２時間 以上	０．３	４０～９０
4	トップコートⅠ	自動車補修及び 建築塗料含む	各種塗装方法 (刷毛含む)	-	-	３０～４０
5	トップコート Ⅱ	クリヤー塗料 (自動車補修)	各種塗装方法	-	-	３０～４０
6	養生時間	８時間以上				

注意事項
■有機溶剤を含みますので、換気、火気に充分気を付けてください。
■浮き錆・泥・藻をハンマー・ブラシ等で除去後、水洗する場合は、充分乾燥してください。(多量の水は不可)
■通常の１回塗りでは、ピンホールの発生することありますので、しっかり返し塗りを行ってください。
■旧塗膜が一液型コールタール又はアスファルトの場合、フェリックス 117 は塗装できません。
■無機ジンクリッチペイントは、上塗りできません。
■エポキシ塗料（１液ｏｒ２液）は、フェリックス 117 塗布後、約３時間～１ケ月の間に塗り重ねてください。

よくあるご質問
■フェリックス 117 の上に塗布できる錆止め塗料は？
亜鉛末錆止め、ジンクリッチ、エッチングプライマー以外なら適合できると判断していますが、錆止め塗料は種類が多いため、事前確認してください。
■フェリックス 117 の上に水性塗料を塗る場合の注意点は？
ハジキ現象が認められなければ適合できると判断しています。フェリックス 117 を塗布乾燥後に、水性塗料を塗装してください。
■容器及びガン使用後の洗浄方法は？
市販エポキシ系塗料の洗浄用シンナーやラッカーシンナーを推奨します。一般的には、ＳＰ値（溶解度パラメーター）が高い溶剤が優れています。
■スプレーできないか？
２mm口径のガンで希釈せずに塗装可能です。冬期、希釈が必要な場合、市販ウレタン系塗料用シンナーを推奨します。但し、アルコール（メタノール、ブタノール）含有品は不可。（エポキシ樹脂の硬化剤にウレタン樹脂を使用しているため）
■コンクリートの爆裂で露出した鉄筋の錆部分に使用できるか？
２液エポキシプライマーで耐アルカリ性があるので使用可能です。
■アルミサッシの腐食、銅板の緑青に使用できるか？
非鉄金属は反応しないので使用できません。アルミ用、ステンレス用、フェロコン用、銅用が必要な場合は別途商品を紹介させて頂きます。（特注仕様となります）
■密着不良の理由は？
次のようなケースが考えられます・浮錆の除去が不十分であった。・鋼板表面に油分やシリコン等の密着阻害物質が残っていた。・刷毛目によって生じた泡が消えていなかった。
■素地（被着体）の処理方法は？
３種以上での処理をお願いします。

Solar

【性状】

項　　目	主　　剤	硬　化　剤
外　　観	淡黒色溶液	透明溶液
主　成　分	特殊変性エポキシ樹脂	ウレタンプレポリマー
粘　　度	３００m Pa.s 以下／２０℃	３００m Pa.s以下／２０℃
比　　重	０．９７	１．０９
配　合　比	主剤：硬化剤＝３：１（７５：２５）	
混合物の粘度	１００mＰａ．ｓ以下／２０℃	
混合物の比重	０．９９	

【性能試験表】

試験項目	試験規格		主　剤	硬化剤
容器の中状態	ＪＩＳ ５４００		合　格	合　格
混合比（重量）			７５	２５
加熱残分	ＪＩＳ５４００		３０±１	５４±１
密着強度	ＪＩＳ Ａ６９０９-５．８		０．９Ｎ/mm２	
曲げ試験	ＪＩＳＫ５６６４ ２mmΦ		合　格	
衝撃試験	ＪＩＳ Ｋ５６６４		合　格	
冷熱繰返試験	ＪＩＳ Ｋ５６６４		合　格	
高温試験	ＪＩＳ Ｇ３４９２		異常なし	
低温試験	－３０℃　４８０時間		異常なし	
耐熱試験	１５０℃　２４時間		異常なし	
耐湿性	ＪＩＳ Ｋ５６６４ １２０時間		合　格	
耐候性	ウエザーメーター １０００時間		合　格	
塩水噴霧試験	ＪＩＳ Ｚ２７３１ ５００時間	鉄素地面 錆　面	異常なし 異常なし	

【混合物の可使時間　指触乾燥時間及び乾燥硬化時間】

使用温度	－５℃	０℃	１０℃	２０℃	３０℃	４０℃
可使時間（分）	３４０	２９０	２４０	２００	１７０	１４０
指触乾燥時間（分）	３６０	２５０	１６０	１１０	９０	７５
乾燥硬化時間（分）	５６０	３６０	２１０	１５０	１１５	９０

【塗装間隔】

使用温度	－５℃	０℃	１０℃	２０℃	３０℃	４０℃
最　小（時間）	６	４．５	３	２	２	２
最　大（日）	３０	３０	２０	１５	１５	１５